

昭和三十年三月二十九日外降

命令錄

保存期限
一年

44066
沖繩

球第三二六部
参謀部
航空

24609

2

一 壕内生活、持續ニ伴ヒ左記事項ニ注意セラレ度

1. 壕内ニ於テハ生活状況不規則トナリ易キヲ以テ作戦上必要ナル以テ外ハ努メテ生活ヲ規正シ睡眠攝食其節制ヲ保ツコト

2. 日光不足ハ生活ヲ益シ消極的ナラシムル外線ノ不足ヲ伴ヒビタミン類ヲ一層必要トスルヲ以テ給養ヲ適正ニシ脂肪、生野菜ノ補給ニ努ムルコト

3. 次序ニハ常に消毒液ヲ設置シ炊事勤勞者ノ手指消毒ヲ勵行スルコト

4. 直射燈火ハ眼ヲ刺戟シ壕内ノ塵埃ト相俟ツテ結膜炎其、他ノ眼ノ疾病ヲ誘發スルヲ以テ或ルベク擴散光源ヲ利用スルニ努メテ必要ノ場合ハ消燈若クハ遮光ヲ十分ニ行フト共ニ洗眼ヲ實施スルコト又電燈以外ノ燈火ハ燃焼瓦斯ニヨリ空氣ヲ汚染スルヲ以テ不要ノ燈火ヲ放置セサルコトロソフレノ裸火ヲ遮ケ洋燈ノホヤハ更ニ薄キ白紙ニテ被フヲ可トス

5. 不慮外傷ノ豫防ニ留意シ輕少ナル創傷ト雖モ早期ニ治療ヲ受ケルコト然ラザレバ化膿ヲ来シ或ハ創傷傳染病ヲ誘發スル慮アリ

2

6. 壕内ハ發ヒ過剰ニ棲息シ空氣ヲ汚染シ呼吸器殊ニ鼻咽喉

ヲ胃ニ易キヲ以テ今ニ致ヲ防バシムルコト

ノ時ヨリ經過ト天ニ蚤虱ノ發生著シキモアルヲ以テ身体衣服保
育ヲ圖ルコト

ノ壕内ノ清潔整理ニ努ムルコト

又諸軍節制ヲ旨トシ体カノ保持増進ニ努ムルコト

10 壕内換氣ヲ障礙セサル様持テ出入口通路ニ停止セサルコト

11 箭煙

12 壕内ニ於テ大小便ノ排泄或ハ蓋リニ放棄セサルコト

13 壕内ニ痰壺塵箱等ヲ常置シ置クコト

ニ戰斗指令所附近ノ銃爆撃手逐次實施シツテアリテ從
テ大便ハ必ス夜間ニテ實施スル如クセラレ度

陸軍

球軍會報

三月三十日 山本

一 電報班

陸軍上等兵 野

清

目

目

藤井条次

(以上三月二十日附)

目

陸軍一等兵

津嘉山政真

(三月十九日附)

神戶陸軍病院二入院中、處退院又

5

陸軍

球日命第七十八號

球軍日台命令

三月三十日



陸軍曹長

川原 勲

任陸軍准尉

陸軍軍曹

西山 富雄

給一等給

陸軍軍曹

渡辺 建蔵

同

濱川 昌也

同

當間 嗣英

同

關川 正登

同

瀬戸口 茂

同

河井 定吉

給二等給

(以上三月三十日附)

四爾今壞内ニ於ケル通行要領ヲ左記ノ如ク定

左記

要領区分
 緊急 普通ノ二種トス
 緊急の場合ハ某參謀又ハ某職ト呼

稱シ(緊急止レト呼フ)

此の場合通行者ハ杭ノ一側ニヨリ通

行ヲ停止シ緊急止レト呼稱セル者

通行終ルヲ待テテ通行ス

普通の場合ハ某參謀某職ト(左ニヨリ

ト呼フ)通行者ハ一側ヲアケ通行ヲ要見易

ナラシムルモノトス

五樓~~ニ~~「ハブ」散發~~傷~~ヲ受ケツツマリ夜間作業實施
 者及自然壞ニ出入スル場合特ニ注意ヲ要ス

別紙

自三月三日	至四月六日	間	直將校	同上	官	巡察將校	服務日	分	日	直將校	日	直下士官	巡察將校
三月三十一日	四月一日	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
堀内中尉	岡田少尉	松井少尉	吉田中尉	吉村少尉	渡辺中尉	横溝中尉	堀内中尉	岡田少尉	松井少尉	吉田中尉	吉村少尉	渡辺中尉	横溝中尉
堀一田伍長	西山軍曹	志林伍長	金田軍曹	大坪軍曹	北尾伍長	山本軍曹	堀内中尉	岡田少尉	松井少尉	吉田中尉	吉村少尉	渡辺中尉	横溝中尉
安井少尉	田中是習士官	上江田伍尉	加藤少尉	數本少尉	原野准尉	安田少尉	堀内中尉	岡田少尉	松井少尉	吉田中尉	吉村少尉	渡辺中尉	横溝中尉

球日命第八〇號

球軍日々命令

四月二日

第一師團附 陸軍醫務部長 國本靜雄

第三十二軍醫務部附 (三月二十五日附)

平常用食糧トシ 乾パン三日分ヲ支給ス之ガ

使用ニ關シテハ別命ス

三煙草各人五十本(二十日分)ヲ支給ス各部ハ副

官部ニ於テ鈴木少尉ヨリ受領スヘシ

球軍會報

四月二日

陸軍醫務曹長岡本靜確

三月二十五日普隊ス

一 食糧及日用品並ニ酒保品糧内確保ニ為各人

ニ支給シテ付之カ使用ニ因テハ薪用スヘシ

又乾パンニ在リテハ別命ニシテヤルバ絶對使用スヘク

三 糧内ノ蠅蚤駆除ヲ左記ノ通り留意セシメ度

ノ蠅ノ駆除ノ為 蠅巾ヲ一人一個備付見付次

第 掃滅スル事

一 糧ノ出入口附近ヲ清潔ニシ殘飯殘菜ヲ

放置セサルコト

二 食事運搬ノ際蠅カキアラシキ是掃ノコト

三 毎日日暮ヨリ糧内ノ物ヲ確實ニ拵出ス事

各部毎二一回一回清掃ヲ實施スルコト

5. 就寝前後蚤取ヲ泉地ノ下

球日命巾八十一號

球軍日命令

四月三日



一 第三十二軍參謀

陸軍少佐 神直道

補兼第六航空軍參謀

(三月二十六日)

二 第十九航空地区隊電報班勤務陸軍上等兵坂名五郎

文書班勤務陸軍上等兵山下岩夫

四月三日戦死ス

電報班及文書班ニ於テ處理スル

三 特編部隊ヲ本部並ニ歩兵第一中隊及機關銃小隊ヲ別紙

第一第二(別紙)第三衛兵編成ノ通り編成又四月留六時

編成完結ニ管理部長ノ指揮下ニ入ル

四 前項編成ニ供テ閉鎖スル各部ノ機密書類ハ本月中旬ニ機

密係特校ニ返納スル又各部關係書類ハ非常ニ處置ヲ

請テ得ル如クテスル

五 壕内配置ヲ別紙ノ角ク変更ス細部編成ハ早川大尉

現地ニ於テ指導スル

六 壕外ニ於テ逐次戦死傷者ヲ散見ス得ルニ付各部並ニ

人員ノ牽連ヲ特ニ確定ナラシム

七 各部ノ特編ニ至キ残留任務ニ従事スル將校以下ノ編成表ヲ

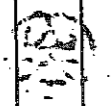
明日一月二日迄ニ副官部ニ提出スル

参考

中三少隊長 加藤少尉

中一少隊長 中野任長

中一少隊長 高島三幸次



球日命第八十號

陸軍

球軍日々命令

四月四日

一 沖繩聯隊區司令部 陸軍少曹 謝敷宗盛

四月二日ヨリ參謀部情報室ニ於テ勤務ヲ命ズ

二 球第六八七部隊 陸軍少兵 比嘉三郎

同 同 知念信儀

原隊復歸不能、為球第一六一六部隊ニ於テ勤務

スベシ依テ特編步兵第一中隊ニ編入ス

三 陸軍少兵 山下巖夫

命陸軍兵長 (四月三日附)

四 栗原驍 四月四日戰傷死ス

陸軍

球日命第八十四號

四月六日

一 陸軍步兵學校教官 陸軍少佐 京僧彬

(命) 獨立混成第四十四旅團參謀

二 獨立速射砲第三大隊附看護婦 豊永トシ

仲杉キヨ

豊永ミズ

豊永ケヨ

第三十二軍 軍醫西部部ニ轉屬ヲ命ズ

幕僚部ニ勤務スル別隊隊長 山田長

通リ股長

四 第五〇三特警工兵隊 陸軍上等兵 野原龜吉

陸軍二等兵 新崎栄助

原所屬追及不能ニ依リ第三軍司令部ニ於テ

14

勤務スヘシ依而特編本又第一中隊二編入ス
 五六日上番巡察將校安日少尉山岩龍小尉下
 左代又ハシ

三四日音 間日直將校同下士官巡察將校服務割出表

服務割合	日直將校	日直下士官	巡察將校
四月七日	安井少尉	瀨戸口軍曹	堀内中尉
四月八日	田中見習士官	田恭伍長	岡田少尉
四月九日	上江田准尉	柿田伍長	松井少尉
四月十日	加藤少尉	西山軍曹	吉田中尉
四月十一日	藪本少尉	若林伍長	吉村少尉
四月十二日	原野准尉	金田軍曹	渡辺中尉
四月十三日	岩館少尉	山本軍曹	橋溝中尉

球日命第八十五號

球軍日々命令

四月七日 **山本**

第五三特警工兵隊

陸軍二等兵大城清行

同

同

王那北朝常喜

原所屬追及不能ニ依リ第三十三軍司令部ニ於テ勤務

スヘシ依而特編歩兵第一中隊ニ編入ス

二防諜上下士官兵及軍屬(囑託雇傭人ヲ含ム)

ニ對スル面會ヲ一切禁止ス又軍屬(囑託雇傭人ヲ含ム)

ノ歩哨線通過ヲ禁ス

球軍會報

四月七日 **山本**

一明八日五三〇ヨリ記念運動場南側ニ於テ重機關

銃ノ試射ヲ實施スルニ付承知セラレ度

二壕内交通及換氣上實施スヘキ事項並取締責任者

ヲ別紙ノ通り定メラル

三、 <small>今事務ヲ現ニ執リテ者ノ外、有擾スヘシ</small>	四、 <small>各人ノ不用、荷物ハ、壊外ニ燒却スルコト</small>	五、 <small>使用セシ水ヲ壊内ニ捨テル事ヲ禁ス</small>	六、 <small>大小便ハ、絶對壊内ニスルコトヲ禁ス</small>	七、 <small>電話使用ハ、簡潔明瞭ニ音聲ニ注意スル事</small>
--------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------

十九 毛虫出、撲滅ハ煙草^級殺最モ有効的ナルヲ以テ
テ左ノ如ク擔任部庶務下士及ハ吸殺ヲ蒐集シ
水ニ佈リ攪シ、毒壺^ニ投入セラレ、殺レ尚午
洗水、設備モ左ノ擔任ニ依リ実施セラレ、

ホ一 坑道入口

ホ二 隊部事務所

ホ三

ホ四 隊部

ホ五

ホ六 隊部

3. 手指消毒ノ夕、至医部ニ於テ消毒液ヲ準備シテ
凡ニ付各部(班)毎ニ消毒水ヲ設備シ之カ實施ヲ勵
行セラレ、

4. 生野系ハ消毒後ニ非サハ喫食ヲ禁メ之カ為消毒
毒液ハ炊子ニ常備シ必ズ之カ消毒ヲ確實ニ行
フモノトス

二 各部ノ肝油球配布レ、凡ニ付前者ハ一日ニ2、3粒

一 宛各人ニ服用セラレ、及テ冬寒期ニ交付セ、

防護用増強材料ハ勤務前初期ハ一粒宛爾後逐
次2、3粒服用スルモノトシ、就寝前ハ服用セザルニ

トス

...

陸軍

球日命第八十七號

球軍日々命令

四月九日

一第三十二軍司令部附 陸軍少佐 長野英夫
補第三十二軍參謀 (四月七日附)

21

陸軍

球日命第八十八號

球軍日々命令

四月十二日

一第三十二軍自動車隊 陸軍兵長 飯沼淺雄
同 同 木内四郎

任陸軍伍長

二第三十二軍自動車隊 陸軍上等兵 入戸堅 茂
同 同 菊地友吉

同 同 吉田善四郎

命陸軍兵長

三第三十二軍自動車隊 陸軍等兵 辻木末雄
同 同 成尾秀雄

命陸軍上等兵

同 同 (以上四月二日附)
陸軍伍長 飯沼淺雄
同 木内四郎

四月之日戰死又

五獨立混成隊第五旅團司令部附

陸軍主計中尉 市來政安

歸仕不能二付々第三十二軍經理部三於下勤務方へ

六經理部

陸軍主計中尉 市來政安

命陸軍雇員月給五十円

(四月六日附)

七經理部

陸軍雇員與那城清

四月六日戰傷死又

八自四月七日間日直將校同下士官巡察將校

陸軍兵長 入戸堅茂

同

菊地友吉

同

吉田善四郎

陸軍上等兵

遠木末雄

同

城尾秀雄

服務割出表中日直下士官、服務ヲ左ノ如ク変更ス

記

四月十日 若林伍長ヲ山田伍長ニ

四月十二日 金田軍曹ヲ武藤伍長ニ

九命 陸軍上等兵 中村 操

同 陸軍一等兵 與那原清春

免 陸軍兵長 竹永初義

同 陸軍上等兵 広島金也

同 頭書、通り瓦斯兵ヲ免命ス

十日給 走内四十銭 軍馬手 具志堅古行

同 同 此嘉景五

同 同 城間誠敏

同 同 走内参考銭 中村 渠 良雄

別紙

至四月十四日間日直將校同下士官巡察將校服務割出表

四月十四日	日直將校	日直下士官	巡察將校
四月十四日	堀内少尉	武山 曹	林 少尉
四月十五日	岡田少尉	口野伍長	主 少尉
四月十六日	松井少尉	金田伍長	土江田准尉
四月十七日	若田少尉	銘 軍曹	佐 伯准尉
四月十八日	池田少尉	堀川 軍曹	藪 本少尉
四月十九日	原野准尉	岡 軍曹	益 永口尉
四月二十日	横溝少尉	渡辺 軍曹	清 田少尉

24

球軍會報

四月十二日

陸軍

一 三月二十四日

陸軍建技少尉 佐々木誠

三月二十六日

陸軍上等兵 我出屋宗雄

四月六日

陸軍技手 島田清

右者沖繩陸軍病院

二入院中 處頭書白所

ヲ以テ治癒退院ス

三 三月二十日

陸軍中尉 甲斐武

同 三月二十日

陸軍准尉 佐迫政光

同 四月七日

陸軍伍長 金田國夫

右者沖繩陸軍病院

二入院中 處夫之頭書

ノ目付ヲ以テ治癒退院ス

三 各所ニ集積シテ

糧糧及酒保品ハ各部庶務

係將校ニ於テ監督保存セシ度無斷開荷

セシムルハ何人トイヘドモ嚴禁ス

日達

洗濯特之白色ヲ壕入口附近ノ小屋・木枝
等ニ乾スモノアリ敵ヨリ察見サレ易キヲ以テ嚴
ニ注意ヲ要ス

球日命第八十九號

球軍日々命令

四月十三日發

一 陸軍步兵學校教官 陸軍少佐 京僧 彬
 陸軍步兵學校教導隊附 陸軍中尉 森 稔 弘 二
 補第三十二軍司令部附 (四月九日附)
 獨立混成第四十四旅團司令部 勤務及京僧
 少佐、人命參謀、致、如、之、

球日命第九十號

球軍日々命令

四月十四日發



一 免 陸軍中尉 久保品夫
 陸軍中尉 甲斐武一
 命 管理部被服需品 戰用品 保管者ヲ頭書、ノ通、
 免命ス (四月四日附)
 二 第二野戰築城隊 陸軍伍長 佐藤早見
 第三十二軍司令部 勤務ヲ命ス 仍而參謀部 情
 報班ニ於テ服務スヘシ
 三 陸軍少佐 小嶋富夫
 右瓦斯兵ヲ免ス
 四 山第三四五部隊 陸軍獸醫事務曹長 渡辺龍松
 第三十二軍司令部 執屬ス(命獸醫部附) (三月
 二十五日附) 仍而管理部ニ於テ服務スヘシ

五
三月十七日球日命第七十四號第七項渡邊獸醫
務書長ノ件削除ス

球日命第九十二號

球軍日命

四月十八日

陸軍

陸軍主計部部長

谷崎進郎

陸軍主計部附

杉山美命

陸軍主計部部長

川西隆

同

董久吉典

陸軍主計部

陸軍主計部附

谷崎進郎

補第三十二軍官理部附

(以上三月一日附)

陸軍主計部

西井政雄

給二華絶

渡邊孝義

球軍會報

四月十八日

司令部消費品及帶品一部燒失セシ為消耗品

特ニ紙類、使用ニ際シ注意スヘシ

ニ夜間殊ニ深夜ニ於テハ警備ヲ為シ左ノ通ク不寢

番勤務ヲ實施セシム

左記

特編中隊第一坑道入口ヨリ作戰事務遂行

位置

1. 副官部及勤負文書班ヨリ一名

2. 第二入口ヨリ電報班入口迄

3. 電報班ヨリ班三強ヲ常時三名

4. 作戦室ヨリ隔角衛兵

三電機手入ノ為特別ノ場合ノ外 自ヨリヨリ同ハ

吳燈セム

旅日命第九三號

陸軍日々命令

四月二十日

陸

一 任陸軍大尉

陸軍中尉

益永 董

二 任陸軍大尉

陸軍少尉

安田 賢次

三 任陸軍中尉

陸軍主計大尉

吉村 文

四 任陸軍少佐

陸軍主計少尉

渡邊 公朋

任陸軍主計中尉

陸軍主計中尉

田中 護利

30

以上四月二十日
三 於此見聞七三戰訓二基
實行要領左如定公

四 勤務ニ從事スル者及休務セシムル者ハ各部毎ニ適
 確ニ区分シ起居及容儀ノ適正ヲ期スベシ
 其ノ區分ヲ一日ノ始ヨリ迄ニ管理部長ニ報告シ
 直接監督ハ各部毎ニ主任將校實施スベシ又
 夜間勤務者ハ夜間喫食セシメ晝間ハ喫食セシメ又
 晝間ハ專ニ睡眠休養セシム
 五 夜間洞窟外ニ於ケル体操又ハ深呼吸ハ四月一日至五月
 會報第六項ニ依リ各部毎ニ監督實施セシムベシ
 六 其他ノ欄ノ内ノ項ハ軍醫部ニ於テ實施ス
 七 各入口埋没後ノ空窟開作業及此ガ準備ハ防衛隊命令
 第三號ノ基ニ實施シ四月五日ヨリ迄ニ其結果ヲ報告スベシ
 八 洞窟内防火水(飲料水)ノ漏水ハ各部毎ニ常時實
 施スベシ

洞窟入口近傍ニ於ケル瓦斯計檢査將校
 於テ實施スル各人ハ常時防毒面ヲ準備シ置ク
 六 幕原部 日直巡察將校及日直下士官別紙割
 表ノ通報務スベシ

別紙

自四月二十日 日直巡察將校日直下士官服務割出表

月日	日直將校	巡察將校	日直下士官
四月二十日	山崎少尉	堀内少尉	若林伍長
四月二十一日	上村少尉	岡田少尉	金田軍曹
四月二十二日	佐伯准尉	松井少尉	北尾伍長
四月二十三日	清田少尉	吉田中尉	田添伍長
四月二十四日	林少尉	岩館少尉	武山軍曹
四月二十五日	吉村少尉	構溝中尉	中野伍長
四月二十六日	益永中尉	井田准尉	銘川軍曹

療軍會報

四月二十一日

一、參謀總長ヨリ左ノ電報アリラルニ付一般ニ傳達スベシ

四月二十日神總本島方面戦況上奏ニ當リ等三三軍リカ家後ノ敵將ニ戰車ヲ對シ善戰ノ大損害ヲ與ヘタル事ニ關シ

御満足ノ御模樣ヲ經セリ 向後愈々善戰ノ大ナル戦果ヲ舉ゲラレシムルヲ期待ス

二、爾今毎日左記ノ如ク齒科診療ヲ實施スルニ付承知セ度

ノ時間 至二三〇〇 (但ニ應急患者ハソノ限リ非ズ)

三、各部ノ明ニテ二二〇〇迄ニ使用電燈數及電力使用量(單位

度)ヲ管理部長ヘ報告スベシ 迄而各部各班庶務將校ニ於テ極力電力節約ニ努ムラレ

軍令之類
陸軍之類
海軍之類
陸軍之類
海軍之類
陸軍之類
海軍之類

球日命第九十七號

球軍日命令

四月二十五日 **山本**

工員

和守慶朝光

雇員ヲ命三月給四拾五圓ヲ給ス(四月十五日附)

雇員

和守慶朝光

四月十六日 戲死ス

三四月二十日球日命第九十四號 第三日直勤務割

山表中上番園軍曹トシテ關川軍曹ニ変更ス

球軍會報

四月二十五日 **山本**

陸軍上等兵 鈴木禮重

右三者沖繩陸軍病院ニ入院中ノ處 四月五日附
治癒退院ス

下道 陸軍省 陸軍省 陸軍省

東

字 音

球日命乃九八路

球軍日之命令

四月二十六日 山本

一 軍築城隊

陸軍上等兵

岩佐 傳

命陸軍兵長

(四月十四日附)

二

陸軍兵長

岩佐 傳

四月十四日 踐天ス

三 軍司令部ハ全員(産備入ヲ除ク)四月分ノ俸給(留守ヲ渡ラ陣之現地受領額

ノ金額ヲ國防資金スヘシ

其ノ款金手續ハ軍經理部長ニ於テ實施スヘシ

四 幕僚部(軍医部)日直巡察將校及日直下士官勤勞別紙割去表

ノ通リ取替スヘシ

陸

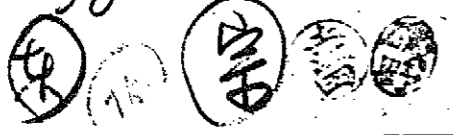
軍

別紙

自四月二十七日 至五月三日 日直 巡察將校及日直下士官 服務割出表

五月三日	五月二日	五月一日	四月三十日	四月二十九日	四月二十八日	四月二十七日	月日
坪井准尉	横溝中尉	岩館少尉	吉田中尉	松井少尉	岡田少尉	堀内中尉	日直將校
土江田准尉	吉村中尉	中居少尉	数本少尉	原野准尉	千葉准尉	田中見習士官	巡察將校
山本軍曹	渡辺軍曹	關川軍曹	銘川軍曹	中野伍長	武山軍曹	田添伍長	日直下士官





球軍會日報

四月二十六日



電燈節約ニ關シテ屢々注意シタルモ今尚實施不確實ナリ特ニ五ノ矣
嚴守スルヲ要ス

一 終夜燈ハ各坑道毎ニ管理部ニ於テ定メ之ニ標示ヲセシム

二 各事務室ノ電燈ヲ現場ニ整理スルモ今無斷各人ニ於テ取付ヲ禁ム

三 敬禮ヲ最モ嚴格ニ實施スルニ最近壕内ニ在リテ軍司令官及諸上官通行セ

ラルニ當リ全級ニ敬禮ヲ有略シテ傾向在リ特ニ用務ヲ械ニ拜ラカレ者ニ於テ

然リトス自今其ノ場ニ於テ姿勢ヲ正シ敬禮ヲ行フヘシ

三 故事入口左側ニ設備セル入浴時回割出立ノ通り定ム

一三〇〇一三三〇 軍司令官

一三三〇一四〇〇 參謀長

一四〇〇一五〇〇 高級參謀 軍醫部長 高級副官

一五〇〇一七〇〇 木村參謀外參謀一同

一八〇〇以後ハ一般故事ヲ實施スルニ付テ燈ノ為使用止メテ付準備セム

四 管理部、前項時間内ニ於テハ常時入浴ヲ容得ル如ク準備スルモノトス

一 般用入浴ニ関シテハ別ニ(完成後)示ス

五 夕食ノ腐敗防止ノ為、夜間第一回炊事ヲ以テ二〇〇ニ分配ス明ニ之日

以後ニ在リテハ夕食ヲ二時ニ際食スルモノトス

球日命第九十八號

球軍日々命令 四月二十八日

一 明二十九日天長節ノ方リ全員其島ニ於テ九時ヲ期シ一齊ニ宮城ヲ遙拜

ニ聖壽ノ萬歳ト皇國ノ悠久トヲ確信奉告スヘシ

二 參謀部情報 陸軍二等兵 廣門知秀

命陸軍一等兵 (四月二十七日附)

三 參謀部情報 陸軍二等兵 大嶺盛一

命陸軍一等兵 (四月二十八日附)

四 參謀部情報 陸軍一等兵 末門知秀

四月二十七日 戦死ス

五 參謀部情報 陸軍一等兵 大嶺盛一

四月二十八日 戦傷死ス

会報

松原光 西井佐 岩館孝 土佐直 菅原長 及川公 天原邦 阿部三 中村徳 宇原信

球軍合日報

四月二十八日

一 明二十九日天長節ニ方リ左記ノ通り謹祝赤飯並ニ加給品ヲ給ス

ノ甘味品 戦勝饅頭一人ニ付一個

又酒 一人ニ付一合(女ヲ除ク)

二 副官部 陸軍 屬 岩下善磨

管理部 陸軍上等兵 清川米吉

右ノ者戦傷ニ依リ四月二十六日沖繩陸軍病院ニ入院ス

陸軍二等兵 具志清一

三 四月二十四日着隊ス